

福山市産業支援者連絡会議 議事要旨

日 時: 2025年(令和7年)6月4日(水) 13:30～14:20

場 所: 福山市まなびの館ローズコム 4階 小3会議室

出席団体

福山商工会議所、福山北商工会、福山あしな商工会、神辺町商工会、
沼隈内海商工会、(公財)ひろしま産業振興機構福山支所、
広島県中小企業団体中央会福山支所、㈱日本政策金融公庫福山支店、
福山公共職業安定所、広島県立総合技術研究所東部工業技術センター、
広島県商工労働局商工労働総務課東部産業支援担当
福山市経済環境局経済部産業振興課

議事内容

■米国関税措置に係る取組について

【産業支援機関の取組紹介】

5月30日時点での相談対応状況

- ・14 機関の合計: 12 件
- ・一部業種によっては影響が出始めている
- ・米国からの受注が3分の1に減少する企業からの相談あり。8月から仕事が厳しくなるとの声あり。不透明な受注環境への対応についての相談
⇒新規受注先の開拓、自社の資源の棚卸、新事業進出補助金を提案

■意見交換

- ・現時点で関税による影響か判断が難しいものがある
- ・明確な関税に関する相談件数は少ないが、間接的に影響を受けている可能性あり
- ・今後について不安視する企業の声がある
- ・関税よりも人材確保や賃上げへの関心が高い
- ・「ものづくり補助金(経済産業省)」は1年ぶりに公募再開。例年通りの件数
- ・「中小企業省力化投資補助金(経済産業省)」も順調に件数が伸びてきている
- ・賃上げに取り組む企業向けの「賃上げ貸付利率特例制度」は、制度適用者が増加傾向
- ・雇用への影響が出るのはもう少し先になる見込み
- ・次回の連絡会議(関税措置の影響が出るとされる8月頃を目安)に向け、各支援機関において、引き続き情報収集を行う